

科学技術社会論学会
2003 年度年次研究大会プログラム

2003 年 11 月 15 日 (土)

セッション I	09:00 ~ 10:30
A 会場	(15-A-I-G)

合意形成論 I

座長： 塚原修一（国立教育政策研究所）

木村宰（電力中央研究所経済社会研究所）

「市民共同発電所運動による自然エネルギー導入プロセス」

重松真由美（東京大学大学院 総合文化研究科 広域科学専攻）

「住民による調査活動の科学論的考察 川崎における大気汚染測定運動の事例から」

松原克志（常磐大学） 吉田昌史（跡地周辺まちづくり提案住民グループ）

「環境保全のための住民知の活用方策 国立小児病院跡地利用を事例として」

藤本延啓（九州大学比較社会文化学府）

「不法投棄廃棄物の処理に対する地元の問題意識 青森・岩手県境廃棄物不法投棄問題から」

B 会場	(15-B-I-G)
-------------	-------------------

理論的アプローチ I

座長： 松本三和夫（東京大学）

加藤源太郎（神戸大学大学教育センター）

「科学と政治の境界」

藤村卓（千葉商科大学大学院政策研究科）

「科学技術の進歩速度に関する合意形成」

三宅苞（社会技術研究システム）

「J. ザイマンの科学論 / モード 2 科学批判について」

まどかアッセマ庸代、岡田恒良、長谷部茂人（南山大学）

「Life STS から 和の生命科学技術宇宙論 現代医科学知と伝統文化・風土知のコラボレーション」

C 会場	(15-C-I-G)
-------------	-------------------

科学技術コミュニケーション I

座長： 杉山滋郎（北海道大学）

岡本信司（静岡大学地域共同研究センター）

「一般成人の科学リテラシー詳細分析と考察」

清水欽也（広島大学大学院教育学研究科）

「我が国の一般成人及び理科教師志望学生のエネルギー理解の現状分析」

竹森一正（中部大学）

「ケーススタディ・大学教育における核燃料サイクル 社会的・経済的・文化的理解を目的として」

八巻俊憲（福島県立郡山高等学校）

「高校教師の持つ科学観と現代の科学観との比較」

セッション II

10:40 ~ 12:20

A 会場

(15-A-II-T)

テーマセッション： 科学技術的实践における知識，リソース，学習の社会 - 技術的構成

オーガナイザ： 上野直樹（武蔵工業大学）

岡部大介（横浜国立大学） 福田恵（サイエンスライター）

「社会的ネゴシエーションとしての科学番組の編集」

吉岡有文（青山学院大学大学院）

「KEKBコントロール室における加速器研究者 A 氏の学習 高エネルギー加速器研究機構におけるフィールドワーク」

ソーヤーりえこ（ハワイ大学東アジア言語文学研究科）

「科学実践におけるブローカリングによるアイデンティティ形成」

上野直樹（武蔵工業大学）

「社会的組織としての知識マネジメント・システムのデザイン」

B 会場

(15-B-II-G)

理論的アプローチ II

座長： 小林傳司（南山大学）

安孫子誠也（聖隷クリストファー大学）

「プリゴジン理論の STS 的意義：追悼イリヤ・プリゴジン」

桑原雅子（学術研究ネット）

「ジェンダー概念をめぐるポリティクス：STS からのアプローチ」

猪原健弘（東京工業大学大学院 社会理工学研究科 価値システム専攻）

「社会ネットワークの安定構造と情報共有」

植木哲也（苫小牧駒澤大学）

「知と無知の間」

中川善典（東京大学大学院 工学系研究科 社会基盤工学専攻）

「道路関係四公団の民営化論議と社会的合理性」

C 会場

(15-C-II-G)

科学技術コミュニケーション II

座長： 小川正賢（神戸大学）

堀郁夫（科学技術振興事業団社会技術研究システム）

「化学プロセス安全・リスクコミュニケーションのための サイエンスショップ創設へのアプローチ」

本間善夫（県立新潟女子短期大学）

「SARS 禍における Web 情報の有用性」

八木絵香（東北大学工学研究科、社会安全研究所） 高橋信（東北大学工学研究科） 北村正晴（東北大学工学研究科）

「リスクコミュニケーションにおける技術専門家の参画方式」

横田陽子（立命館大学大学院先端総合学術研究科）

「日本における SARS への対応 『スーパースプレッダー』 専門領域から一般社会へ」

セッション III

13:20 ~ 15:10

A 会場

(15-A-III-T)

テーマセッション： STS と MOT の相互浸透：バイオメディカル産業の事例を通して

オーガナイザ： 原拓志（神戸大学） 塚原東吾（神戸大学）

コメンテータ： 松本三和夫（東京大学） 松原洋子（立命館大学） 佐倉統（東京大学）
原拓志（神戸大学）

「医薬品の社会形成とイノベーション・マネジメント」

松嶋登（東京都立大学）

「バイテク・ベンチャーによる『技術』と『社会』の再構成」

入江信一郎（京都工芸繊維大学）

「ベンチャー企業は制度的障壁をどのように克服するのか」

B 会場

(15-B-III-G)

合意形成論 II

座長： 中島秀人（東京工業大学）

塚原修一（国立教育政策研究所）

「パネル制度の諸類型 2」

三村恭子（東京工業大学大学院）

「フォーカス・グループ・インタビュー手法の試行実験 事後評価と比較研究」

若松征男（東京電機大学理工学部） 塚原修一（国立教育政策研究所） 川野祐司（東海大学） 藤澤姿能子（政策科学研究所）

「フォーカス・グループ・インタビュー手法の試行実験 科学技術政策形成過程における使用可能性の検討」

高橋祐一郎（農林水産政策研究所） 若松征男（東京電機大学） 小林傳司（南山大学）

「コンセンサス会議に必要な環境整備について」

杉山滋郎（北海道大学大学院）

「『模擬コンセンサス会議』の試み」

C 会場

(15-C-III-T)

テーマセッション： 科学技術における女性 より多くの参入を求めて

オーガナイザ： 桑原雅子（学術研究ネット）

コメンテータ： 八木江里（八木江里科学史研究所）

小川眞里子（三重大学）

「EU における近年の女性科学者推進政策について」

都河明子（東京医科歯科大学）

「フィンランド・スウェーデンにおける女性科学者のための施策」

塩満典子（奈良先端科学技術大学院大学）

「女性研究者の環境改善のための科学技術政策等の現状と課題」

桑原雅子（学術研究ネット）

「わが国女性科学技術者の半世紀」

記念講演	A 会場	16:00 ~ 17:30
-------------	-------------	----------------------

講演者： 井村裕夫（内閣府総合科学技術会議議員）

懇親会	18:00 ~
------------	----------------

会場： 神戸大学滝川記念館

2003年11月16日（日）

セッション I	09:00 ~ 10:20
----------------	----------------------

A 会場	(16-A-I-G)
-------------	-------------------

研究開発システム・政策論 I

座長： 後藤邦夫（桃山学院大学名誉教授）

小田嶋豊（東京大学総合文化研究科・教養学部）

「大学における技術官の存在とは」

猪原健弘（東京工業大学大学院社会理工学研究科価値システム専攻）

「融合型研究の類型軸」

天野美香（東京大学）、隅蔵康一（政策研究大学院大学）、廣野喜幸（東京大学）

「生命科学研究者と特許：『悪性新生物（癌）』研究分野の日米比較」

B 会場	(16-B-I-G)
-------------	-------------------

歴史的アプローチ I

座長： 廣野喜幸（東京大学）

瀬戸口明久（京都大学大学院文学研究科）

「<害虫>の誕生 近代日本における昆虫をめぐる民衆知と科学知」

王青翔（四日市大学環境情報学部）

「環境科学の創始者 = エレン・スワロー研究の問題点」

塚原東吾（神戸大学）、今西英貴（神戸大学）、堀内葵（神戸大学）、財城真寿美（東京都立大学）

「地球温暖化問題の科学的・PNS 的考察」

C 会場	(16-C-I-G)
-------------	-------------------

合意形成論 III

座長： 木原英逸（国土館大学）

山内保典（名古屋大学大学院教育発達科学研究科）、岡田猛（名古屋大学大学院教育発達科学研究科、名古屋大学高等研究院）

「電子掲示板（BBS）上でのアカデミック・ディスカッションに関する研究」

日野明日香（東京大学大学院新領域創成科学研究科）

「合意形成における専門家の役割」

篠崎香織（北陸先端科学技術大学院大学）

「社会システムにおける信頼の機能 原子力発電をめぐる合意形成の複雑性縮減メカニズムの分析」

本藤祐樹、青木一益（電力中央研究所経済社会研究所）

「技術・アクター・制度・地域の特性からみた新エネルギー技術の導入過程の分析 技術評価・管理の発展に向けて」

セッションII

10:30 ~ 12:00

A 会場**(16-A-II-T)****テーマセッション： Private Science? 現代医学における市場と公共性**

オーガナイザ： 山中浩司（大阪大学）

上山隆大（上智大学）

「Public/Private Science? —戦後アメリカにおける臨床と基礎科学」

山中浩司（大阪大学）

「プロフェッショナルと標準化 外部圧力・市場・公共性」

額賀淑郎（東京大学医学系研究科）

「遺伝学研究とサポートグループ：遺伝情報の公共化」

B 会場**(16-B-II-G)****技術倫理**

座長： 調麻佐志（東京工業大学）

安藤恭子、札幌順（金沢工業大学）

「学協会における科学技術倫理への取り組み 倫理綱領をこえて」

杉原桂太（南山大学社会倫理研究所）

「いかにして STS と技術者倫理を統合するか：市民の視点を持つ専門職のための技術者倫理教育を目指して」

林真理（工学院大学）

「技術者倫理教育における STS 的視点」

朴英元（東京大学大学院）、乾裕子（神戸大学大学院、計量計画研究所）、丸元聡子（計量計画研究所）

「企業不祥事と企業活動に関わる集団との関係 雪印乳業の食中毒事件が株主へ与える影響を中心に」

C 会場**(16-C-II-G)****合意形成論 IV**

座長： 藤垣裕子（東京大学）

大熊和彦、趙公章、田原敬一郎、斉藤文子、猪瀬秀博（政策科学研究所）

「政策形成過程でのパネル制度の位置づけと設計」

小山田和仁、草深美奈子、浜田真悟、山下泰弘、小林信一（産業技術総合研究所 技術と社会研究センター）

「議会テクノロジー・アセスメントの国際比較 GMO を事例として」

若松征男（東京電機大学理工学部）ほか

「『三番瀬の未来を考えるシナリオ・ワークショップ』社会実験報告」

趙公章、猪瀬秀博、藤澤姿能子、大熊和彦（政策科学研究所）

「政策形成プロセスにおけるパネルの設計・運営条件についての一考察」

セッション III 13:00 ~ 14:30**A 会場** (16-A-III-T)**テーマセッション： 高速増殖炉もんじゅ開発政策は変わる**

オーガナイザ： 吉岡斉（九州大学）

吉岡斉（九州大学）

「高速増殖炉開発政策の今日の争点」

小林傳司（南山大学）

「もんじゅ判決をめぐる言説分析の試み」

池島英紀子（ストップ・ザ・もんじゅ & 自然環境センター代表）

「原子力政策とりわけ『もんじゅ』の政策変更を求めて」

B 会場 (16-B-III-G)**歴史的アプローチ II**

座長： 三浦伸夫（神戸大学）

田淵宗孝（名古屋大学大学院情報科学研究科）

「デンマーク風力発電の社会史」

並松信久（京都産業大学経済学部）

「農業科学の理論と応用 メンデルイズムの受容をめぐる」

水沢光（東京工業大学大学院社会理工学研究科）

「アジア太平洋戦争期における軍外航空研究機関の研究開発上の役割」

宮崎和英（福岡大学大学院工学研究科）

「電池技術発展の内発的および社会的諸要因について」

C 会場 (16-C-III-G)**研究開発システム・政策論 II**

座長： 奥田栄（人間環境大学）

石黒武彦（同志社大学ヒューマンセキュリティ研究センター）

「総合科学誌を舞台とした Misconduct」

田島俊之（北海道大学大学院理学研究科物理学専攻）

「米国で最近起こった2つのデータ捏造事件について」

伊藤裕子（科学技術政策研究所科学技術動向研究センター）

「ゲノム関連研究に投入した日本の政府予算」

馬場健司、鈴木達治郎、本藤祐樹（電力中央研究所経済社会研究所）

「公共的起業家ネットワークの視点からみた新エネルギー技術の導入プロセス 風力発電導入プロセスの事例」

セッション IV 14:40 ~ 16:20**A 会場** (16-A-IV-T)**テーマセッション： 基礎科学と社会**

オーガナイザ： 平田光司（総合研究大学院大学）

神沼克伊（総合研究大学院大学）

「マスコミと行政における地震予知」

井口春和（核融合科学研究所）

「エネルギー開発としての核融合研究」

高岩義信（高エネルギー加速器研究機構）

「KEKとNIFSにおける史料整理」

柴崎文一（総合研究大学院大学）

「科学技術と倫理」

B 会場

(16-B-IV-G)

科学技術ガバナンス

座長： 平川秀幸（京都女子大学）

畑中綾子（社会技術研究システム）

「医療事故情報収集システムの課題 法的責任追及の観点から」

石井敦（国立環境研究所）

「環境外交における科学と政治： ディプロマトリ・サイエンスの構築」

大久保彩子（東京大学大学院工学系研究科）、石井敦（国立環境研究所）

「国際捕鯨レジームにおける科学と政治： 改定管理方式を題材として」

武田邦彦、橋本淳（名古屋大学）

「環境破壊と自然保護に関する工学的考察」

柄本三代子（法政大）

「リスク社会における食品エビデンスの制度化」

C 会場

(16-C-IV-T)

テーマセッション： 工学倫理・技術者倫理を教えるということ： 授業改善のための Tips

オーガナイザ： 戸田山和久（名古屋大学）

黒田光太郎（名古屋大学工学研究科）

「MOT教育において工学倫理をいかに教えるか」

齋藤了文（関西大学社会学部）

「工学倫理の教育」

瀬口昌久（名古屋工業大学大学院）

「工学倫理とユニバーサルデザイン」

戸田山和久（名古屋大学情報科学研究科）

「1年生に技術者倫理を教える」

セッションV

16:30～18:00

A 会場

(16-A-V-T)

テーマセッション： STSは何を目指すか

オーガナイザ： 小林傳司（南山大学）

小林傳司（南山大学社会倫理研究所）

「STS—批判性と提言性のはざまを考える」

札幌野順（金沢工業大学）

「学会にアイデンティティは必要か」

蔵田伸雄（北海道大学大学院）

「<お墨付き>としてのSTS？」